

ラピッド市との中学生・高校生交流事業

海外姉妹都市ラピッド市はアメリカ合衆国サウスダコタ州西部に位置する、人口約6万人の都市です。毎年約300万人が訪れる観光都市で、マウントラッシュモア国立記念公園やクレージーホース記念碑などが有名です。また、自然を活かした農業、林業も盛んです。

市はラピッド市とさまざまな交流事業を行っていますが、今回は7月21日(土)～8月1日(水)に行った中学生・高校生の交流事業を紹介します。 **くわしくは** 観光交流課 国際交流係 ☎21-5196

市中学生・高校生のラピッド市訪問

7月21日(土)～8月1日(水)の12日間、市の中学生・高校生10名がラピッド市を訪問しました。ラピッド市滞在中の生徒たちは、有名なマウントラッシュモアやバッドランズなどを見学し、アメリカの自然の雄大さに触れ、非常に感動していました。また、ホームステイなどを通じてアメリカの文化や習慣を学び、忘れることのできない貴重な体験となりました。帰国が近づくと生徒たちから、「帰国したくない」「また必ず来る」という声があがっていました。



ラピッド市中学生・高校生の日光市訪問

市の生徒の帰国の翌日にラピッド市の中学生・高校生が来日しました。

滞在中は、市内にホームステイをしながら、ラピッド市を訪問した中学生・高校生と一緒に、二社一寺や足尾銅山の見学、今市高校の生徒との交流などを体験しました。



参加生徒の感想文

ラピッド市派遣事業に参加して

私は、今回この派遣事業に参加して、たくさんを経験し、いろいろなことを感じ、学ぶことができました。その中でも特に私の印象に残っていることは、「言葉の壁」についてのことです。私はアメリカへ出発するまで、「英語できちんと伝えられるかな」と自分の中で不安と何とかなるかな」という気持ちが入り混じっていました。そんな思いのままラピッド市に着いて、初めてそこでホストファミリーの方にあいさつをしました。それから車で家まで向かっている間、話しかけてもらってもまだだうなずくことしか出来ず、いきなり思っていた以上の言葉の壁を感じました。



文：菅田あやこ(鬼怒川温泉滝) 宇都宮短期大学附属高校2年

感じました。しかし、家に着き、事前に用意していた写真などを見せながら話をしていると、自然と話が弾み、だんだんと伝えたいことが伝わるようになってきました。その時、私は初めて、言葉を通して相手に伝えることの喜びを感じたのです。伝えたいことすべてがうまく伝えられただけではありませんでしたが、その中で少しでも伝わることがあったことで、「伝えることの難しさ」と「伝えられた時の喜び」を同時に感じる事ができたのだと思います。そして、これは実際に現地に行ってきたからこそ、感じ、経験する事ができたのだと思います。

私はこれから先、もっともっと勉強していく中で、この経験をばねにして自分の知識を増やしていこうと思います。そして伝えることの難しさという「言葉の壁」を越えて「言葉を通して相手と通じ合える喜び」をもっと感じられるようになりたいと思います。

連載

海外 姉妹都市・友好都市



日光市は海外姉妹都市1市、海外友好都市1市、海外観光友好都市2市と盟約を結んでいます。最終回の今回は敦煌市を紹介いたします。

【海外友好都市】 敦煌市(中華人民共和国)

平成16年10月に旧日光市が友好交流都市の盟約を結び、合併後の平成19年1月、新日光市と友好都市として再締結しました。両市民の友好的な往来を促し、観光・文化・スポーツなどの各分野で交流し協力することを目的としています。平成22年10月には、敦煌市の馬世林市長をはじめとする訪問団が日光市を訪れました。



九層楼 敦煌市は中国の西部に位置する人口約20万人

また、「月の砂漠」のイメージに最も近い鳴沙山や、その谷あいには湧く三日月の形をした泉の月牙泉は、東洋と西洋が交差するシルクロードの情緒あふれる光景で有名な観光地です。



月牙泉

守りたい…小さな命。大切な命。

～11月はSIDS(乳幼児突然死症候群)対策強化月間です～

SIDSとは、既往症(今までにかかったことのある病気)もなく元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく睡眠中に突然死亡してしまう病気です。日本での発生率は、出生児4,000人に対して約1人と推定されています。生後2～6カ月に多くみられますが、まれに1歳以上でも発症することがあります。病気の直接の原因は不明ですが、育児環境の中にSIDSの発生率を高める因子があることが明らかになっています。次の3つのポイントに気をつけることで、発症率が低下することが研究により明らかになっています。

SIDS発症を減らす3つのポイント

①あお向けで寝かせましょう

うつぶせに寝かせた方が、あお向けの場合に比べてSIDS発症率が高いということが分かっています。赤ちゃんの顔が見えるようにあお向けで寝かせることは、窒息や誤飲などの事故を未然に防ぐためにも有効

です。

②タバコは絶対にやめましょう

タバコはSIDS発症の大きな危険因子です。両親が喫煙する場合、SIDSの発症率が高くなるという調査結果もあります。両親はもちろん、身近な人にも理解を得るなどして、赤ちゃんのそばでの喫煙は避けてください。

③できるだけ母乳で育てましょう

母乳で育てられている赤ちゃんは人工栄養粉ミルクなどで育てられている赤ちゃんに比べて、SIDSの発症率が低いという調査結果があります。人工栄養がSIDSを引き起こすものではありませんが、可能であれば母乳で育てましょう。

※ただし、いずれもSIDSの直接の原因ではありませんので、必要以上に不安に感じることはありません。

くわしくは

子育て支援課 保育係

☎(21)5186